

# 包括連携で関係強化

## 金沢学院と北國銀行



覚書を手にした飛田理事長と安宅頭取 =本学会議室

学校法人金沢学院と北國銀行は6月24日、包括的な連携・協力に関する協定を締結しました。この協定は、それぞれの強みを活かしながら地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としたものです。

金沢学院大学1号館会議室で、飛田秀一理事長と安宅建樹頭取が覚書を交わしました。

**5項目の覚書**  
連携の具体的な範囲は、次の5項目です。

- 1、人材育成・交流
  - 2、学生支援活動
  - 3、産学連携活動
  - 4、資金調達・運営
  - 5、その他相互に連携協力を行うことが必要と認められる事項
- 飛田理事長は「大学院には社会人が学びやすいフレックス履修生制度があります。便利な街中の南町中央ビルのサテライト教室で受講できるので大いに役立ててほしい」と述べました。
- また、安宅頭取は「短大や高校を含めた提携は初めてで、高校生への金融教育の機会を設けていきたい」と抱負を語りました。

北國銀行は2009年より経営情報学部で寄付講座を提供してまいりました。金融の現場の方々から「生きた金融・経済が学べる」と学生には好評を博している、というこれまででの経緯があります。この協定締結によって、金沢学院と北國銀行との協力関係が一段と強まることとなります。

### 公開講座始まる

#### 全9講座提供

平成23年度金沢学院大学美術文化学部公開講座が6月11日、南町中央ビルのサテライト教室で開催されました。今年度最初の講座は、「地域におけるコンテンポラリーアート」の演目で、地域社会における現代美術の在り様について、金沢市やヨーロッパの実例等の紹介が行われました。講師は、メディアデザイン学科の大場吉美教授、吉田一誠講師と写真が担当しました。

この後、9月24日まで、小学生から大人まで幅広い世代を対象に、文学・歴史、文化、工芸さらにITからスポーツに至る盛りだくさんの内容で金沢学院大学9講座が行われます。



短大北三大会に60人

### 短大北三大会に60人

第44回北陸三県私立短期大学体育大会は6月25日・26日、星稜女子短期大学を主会場に開催され、金沢学院短大から6競技に60人が参加し健闘しました。バスケットボール部が2年連続、26回目の優勝を果たしました。

**一足早く大学生気分**  
**オープンキャンパス賑わう**

金沢学院大学・短期大学の2011オープンキャンパス第1回は6月19日、金沢市末町のキャンパスで行われました。訪れた約250人の参加者が、志望学部・学科の説明を聞いたたり、オープン授業や学食を体験し、一足早い大学生気分を満喫しました。

全体説明会で榎木裕学長が挨拶した後、中西一夫副学長が、大学・短大の概要、教育方針、奨学金制度、女子学生寮

などについて、分かりやすく説明しました。高校生に対するプログラムと並行して、保護者には資格支援・就職支援の説明が行われました。相談コーナーでは、生徒・保護者が多数訪れ、中でも来春完成の女子学生寮について関心が高いことがうかがわれました。



講堂を埋める参加者

この後、9月24日まで、小学生から大人まで



壮行式で決意を述べる部代表 =講堂=